

「翔び立て若き翼」

松浦衣吹 800m

小宮圭翔 砲丸投

北九州 最終予選 進出

伝習館スポーツ

第32号
令和5年6月
伝習館高等学校
広報・中学募集課

令和5年度 秩父宮賜杯第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会福岡県予選会は、5月26日～28日に東平尾公園博多の森陸上競技場で行われた。

全国出場へ挑む

小宮圭翔(3年橋中出身)と松浦衣吹(3年宅峰中出身)がインターハイ出場を懸けた最終予選のキップを掴んだ。

26日の16時に開始された砲丸投決勝。試技順で22番目に登場した小宮圭翔は、1投目に13m33(伝習館記録)と自己記録を更新する投擲をみせて、6位入賞を勝ち取った。

また、27日に行われた男子800mでは、午前中の予選を1着(4組)で通過した松浦衣吹が、決勝でも積極的なレースを展開し、2位以下を引き離して見事優勝した。

小宮と松浦は、6月15日～18日に東平尾公園博多の森陸上競技場で行われる北九州地区予選大会に出場する。砲丸投、800mともに、6位までが北海道で開催される全国大会の出場権を得る。

陸上競技

秩父宮賜杯第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会福岡県予選会

〈男子〉

▼100m

予選 4組3着 松延柊哉③ 進出

準決勝 10秒87(伝習館記録)

2組7着 松延柊哉③ 敗退

▼200m

予選 1組4着 松延柊哉③ 進出

2組5着 米盛葉月② 敗退

準決勝 1組8着 松延柊哉③ 敗退

▼400m

予選 1組5着 米盛葉月② 進出

DNS 松浦衣吹③

準決勝 2組7着 米盛葉月② 敗退

▼800m

予選 4組1着 松浦衣吹③ 進出

決勝 1着 松浦衣吹③

1分53秒71

▼4×400mR

予選 2組5着 伝習館 敗退

米盛 松延 ジェンキンス 松浦

▼砲丸投

6等 小宮圭翔③

13m33(伝習館記録)

〈女子〉

▼200m

予選 4組5着 荒巻寧音② 敗退

▼400m

予選 2組5着 荒巻寧音② 敗退

▼800m

予選 2組6着 進藤咲花③ 敗退

▼1500m

予選 1組13着 進藤咲花③ 敗退

▼100mH

予選 1組8着 大坪綾乃③ 敗退

▼4×400mR

予選 3組6着 伝習館 敗退

久保 荒巻 目野 進藤

小宮 記録更新

成長著しい砲丸投の小宮圭翔は、公式戦では初めて13mを突破した。南部ブロック予選会の記録は12m60。今大会は一投目に13m33と大きく自己記録を更新し、どこまで記録が伸びるか楽しみだ。

県予選6位での北九州地区予選進出だが、小宮は「二発逆転の大投擲でインターハイ出場を狙う」と力強く語った。

松浦 自信のレース

男子800mの松浦衣吹は予選・決勝ともに積極的なレースを展開し、見事に優勝を飾った。

南部ブロック予選会では、最後に逆転され2位に甘んじた。ゴール後は「悔しさを露わにする姿を目にした。その「悔しさ」を経験して、ひとまわり成長したレースが県大会だったに違いない。

いよいよ、北九州地区予選。昨年の経験を生かすときがきた。「福岡県大会優勝の次は、北九州予選も優勝を狙う」と語る松浦の顔は、自信に溢れていた。

松延 10秒87

男子100m予選では、松延柊哉(3年大川桐英中出身)が、本人初の10秒台をたたき出し、10秒87と伝習館記録を更新したが、準決勝で敗退し決勝進出はならなかった。また、期待された4×400mリレーも、残念ながら予選で敗退した。

◆ 編集後記 ◆

陸上競技応援での楽しみな種目の一つが5000m競歩。昨年の観戦後から気になる一人の選手に注目した。

スタートまで30分。バックスタンド前の跳躍走路を使つてのウォーミングアップが始まった。選手達が「流し」を行っていた。その中で「小柄な選手」がよい動きをしていた。一年ぶりのその姿は、私の想像をはるかに超えていた。

南部ブロック予選は、同一校の3名の出場だった。13時10分、スタート直後に飛び出したのが「小柄な選手」だった。大きな腕振り、歩幅を伸ばそうとする勢いのある「歩き」で先頭を引っ張る。少し大柄の選手があとにびつたりと付く展開に。その「歩き」には、気持ちの強さが前面に表れていた。

3000m過ぎにストライドを伸ばした2番手の選手に先頭を譲ったが、懸命な「歩き」は変わらない。ゴールタイムは、昨年の大会からおおよそ10分縮めるものだった。

ゴールした2年生の2人は、雨の中最終ランナーをじっと待つ。7分近く経ったとき、1年生がゴールに戻ってきた。3人で健闘を讃え合う。昨年と同じ光景に涙した。元気をもらった。

その2週間後、県大会でも積極的な「歩き」を目にしたことができた。ゴール直後に倒れ込む「小柄な身体」。全力を出し尽くした8位入賞だった。また来年が楽しみになった。



伝習館200周年 ありがとうございます



文武両道とは「限界を決めないこと」!

